



西日本ユウコーツアーリスト 旅日和(第3回) 瀬戸内海絶景の宝庫 “小豆島”

『小豆島』、
瀬戸内海で2番目の大きさを誇る、周囲126kmの島。
1年を通じて温暖な気候に恵まれた、自然とグルメ、アクティ
ビティを楽しめる島。
昔ながらのまちの景色と自然が調和した、魅力あふれる島。
そんな『小豆島』の魅力を「西日本ユウコーツアーリスト」の添
乗員の中村がご案内いたします。



(写真：小豆島へ出発するフェリーからの眺め)

博多駅から岡山駅まで新幹線で約1時間50分、岡山駅から新岡山港まで市バスで約40分、新岡山港から小豆島までフェリーで約70分と3つの移動手段を利用します。これも旅行の醍醐味ではないでしょうか。

特にフェリーでは穏やかな瀬戸内海なので船酔いの心配もなく、ゆ〜くりとゆりかごに揺られているような感覚です。甲板にでると心地の良い海風が、乗り継ぎの疲れも癒してくれます。



(写真：紅葉シーズンの『寒霞溪』)

小豆島の西の港『土庄港』に到着したら、路線バスもありますが、やはり島旅にはレンタカーが便利です。

『土庄港』から車を走らせてすぐに見えるのが『土湊海峡』。ギネス認定の世界一狭い海峡なので注意していないと見逃してしまいます。

島の中心部にある小豆島観光のハイライト『寒霞溪』は紅葉シーズン(11月上旬～下旬)に訪れてほしいスポット。ロープウェイから眺める紅葉の絨毯と瀬戸内海の絶景を一度にお楽しみいただけます。山頂の売店に売っている“オリーブナッツチョコレート”は添乗員おすすめのお土産です。



(写真：左上『二十四の瞳映画村』・右上『醬の郷』
左下『醤油造り』・右下『小豆島素麺』)

島の南部には『二十四の瞳映画村』があります。映画『二十四の瞳』のロケ用オープンセットを改築したもので、映画を見ていない方も木造校舎・村の通り・駄菓子屋など昭和の匂いがノスタルジックで、心が温かくなります。

少し北へ走ると黒い板壁が続く町並みが現れ、芳ばしい醤油の香りがしてきます。この辺りが『醬の郷（ひしおのさと）』と呼ばれる小豆島の伝統産業の歴史景観を保存した地区です。醤油の購入は勿論、蔵の見学等もお楽しみいただけます。小豆島では他にもシーカヤックや釣りの体験、珍しい“もろみ絞り体験”や“手延べそうめんの箸分け体験”もお楽しみいただけます。



(写真：左上『ギリシャ風車』・右上『オリーブ園のオリーブオイル』
左下『オリーブソフトクリーム』・右下『ひしお丼』)

近年人気のフォトスポットになっている『道の駅小豆島オリーブ公園』は瀬戸内海を見下ろす小高い丘にある約2,000本のオリーブ畑が広がる道の駅です。映画「魔女の宅急便」のロケセットをそのまま使っている“雑貨コリコ”や“はじまりの本”など、インスタ映えする素敵なスポットが点在しています。すぐ隣の『小豆島オリーブ園』では人気のオリーブソフトクリームやオリーブオイルが販売されています。園のレストランでは郷土料理の“ひしお丼”や名物の“生素麺”をご賞味いただけます。



(写真：約束の丘展望台より幸せの鐘)

最後に紹介させていただくのは、土庄港のすぐ近く、潮の満ち引きによって干潮時には白い砂の道が現れ、沖合の3つの島々がつながる『エンジェルロード』。大切な人と手をつないで渡ると天使が舞い降り、願いを叶えてくれると伝えられている場所です。手前にある弁天島を登ると「約束の丘展望台」があり、エンジェルロードを背景に幸せの鐘を鳴らすことができます。エンジェルロードが現れるのは1日2回！是非ロマンチックな雰囲気がいよいよ一層アップする夕刻を選んでみてはいかがでしょうか。



(写真：オリーブの実)

小豆島は1泊2日で充分お楽しみいただけます。

小豆島のいろはを知る旅、自然を思いっきり楽しむ旅、自然と神秘を辿る旅、歴史と産業を巡る旅、等々ご自身がチョイスしたプランで心も身体もリフレッシュ！

そんなヘルシー&ビューティーな魅力が満載の癒しの楽園『小豆島』へ出かけてみませんか？

【↓↓各種パンフレット・過去の旅日和記事はコチラ↓↓】

<http://www.yuukoo.co.jp/travel/>

JTB 総合提携店

西日本ユウコーツーツーリスト



092-271-5898

銀行内線【2194】

営業日／月曜日～金曜日 営業時間／9：00～17：30